

# 羽賀区防災マップ

計画規模 土砂災害

羽賀区は、全ての世帯が土砂災害の被害を受ける可能性があります。特に山際および山際に近い家屋は、直撃を受けると全壊に近い被害が予想されます。土砂災害の危険が高まった場合は、羽賀ふれあい会館やその他施設など、安全と思われる場所へ早めに避難してください。

## 立退き避難が必要となるエリア

**計画規模の降雨で立退き避難を**  
**最大規模の降雨で立退き避難を**  
 計画規模の降雨とは、概ね30年から100年に1度程度の確率で発生する降雨により河川が氾濫した場合の、浸水域および浸水深を表しています。最大規模の降雨とは、概ね1000年に1度程度の降雨を想定しています。

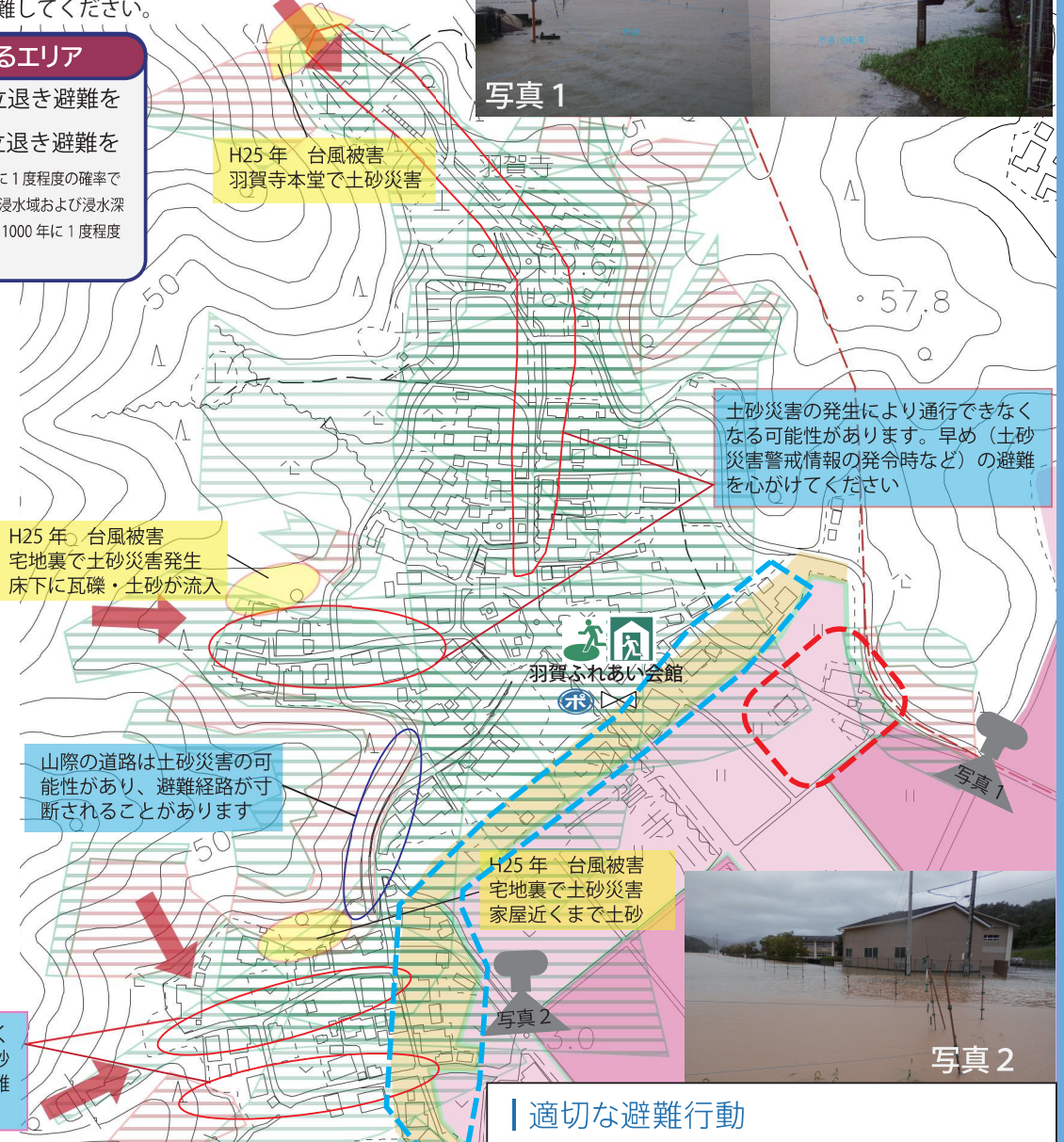
## 凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 学 校
- 避 難 所
- 避難場所
- 病 院
- A E D
- 消防団小屋
- 防災無線
- 防災（備蓄）倉庫

## 洪水浸水想定区域

- 0.5m未満
- 0.5m～1m未満
- 1m～3m未満
- 3m～5m未満
- 5m～10m未満
- ➔ 土砂流出方向

土砂災害の発生により通行できなくなる可能性があります。早め（土砂災害警戒情報の発表時など）の避難を心がけてください



## 大雨時にとるべき行動

警戒レベル	避難行動など	避難情報など	防災気象情報
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 など
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示	警戒レベル4相当情報 氾濫発生情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル3	避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難	警戒レベル3相当情報 氾濫発生情報 洪水警報 など
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	

※各級の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3や警戒レベル4で、地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に全員避難しましょう。

## 適切な避難行動

**避難の種類と行動** 避難行動には、①避難所や、近隣の安全な場所（近隣のより安全な場所・建物など）への「立退き避難」、②「立退き避難」をとるかえて危険な場合は、その時点で居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、③2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。

- 立退き避難（水平避難）**  
避難所  
避難場所
- 屋内安全確保**
- 垂直避難**

**避難時の心得**

- 火の元（コンロ、暖房器具、タバコ、燭香など）と戸締りを確認。電気はブレーカーを落として、朝威や犯人などに避難することを連絡しておきましょう。
- 動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。
- 深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

**地域での助け合い**

- 肢体不自由な人には…**
  - 階段では2人以上が必要で、のぼりは前向き、くだりは後ろ向きにして移動しましょう。
- 目ที่ไม่自由な人には…**
  - 災害時には、声を掛け情報を伝えましょう。
  - 誘導する場合は、支援者のひじ辺りを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。
- 耳が不自由な人には…**
  - くちをハッキリと開け、相手に分かりやすいように話しましょう。
  - 手話・筆談・身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。
- 外国人には…**
  - 身振りや手振りでも話しかけ、孤立しないようにしましょう。